

【週刊タバコの正体】

Vol.35 第1話～第4話

2016/09 和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 35

(No. 476) 第1話 第13回アンケート結果

ーアンケート結果を端的に表現すると...

猛暑が続いた夏休みでしたが、クラブ活動など何かに集中できたでしょうか。1ヵ月は長いようでも終わってしまえば短く感じられます。そして、もう少し休みが欲しいと思っている人もいるでしょうが、2学期は始まりましたので、気持ちを切り替えて毎日の学校生活を充実させて下さい。

さて、5月に実施した「タバコに関する意識調査」の結果を紹介します。右下の表が総数1149人からの回答をまとめた一覧表です。調査結果を一言で表現すれば、ほとんどの人が、『タバコは有害なので、一生タバコは吸わない』と思っていることがわかります。

(No. 477) 第2話 タバコ臭くない日本に

ー日本はタバコ臭いという印象がある...

つい先ごろ、厚生労働省が喫煙の健康影響に関する報告書「たばこ白書」をまとめたそうです。それによると、喫煙はガンだけではなく脳卒中や心筋梗塞、糖尿病などの因果関係が「確実」にあると報告されています。同時に、腹部大動脈瘤や歯周病、妊婦の早産や胎児の発育遅延などにも確実に影響を与えているとされています。

そして、喫煙者本人だけではなく他人のタバコの煙を吸わされる受動喫煙においても、肺ガンや脳卒中、心筋梗塞などに確実に影響しており、年間約1万5千人が死亡しているとされています。

(No. 478) 第3話 敷地内全面禁煙

ー職場でのサー ドHANDSモークを防ぐには喫煙場所をなくす...

他人のタバコの煙を吸わされるのが「受動喫煙」ですが、白いタバコの煙が目に見えなくても、すぐ消えてしまいます。しかし、目に見えないニオイは時間がたっても、なかなか消えません。例えば、喫煙所の付近では、けっこう離れていてもニオイを感じるものです。そして、人とすれ違った時や、エレベーターに乗った時にタバコのニオイを感じる事はありませんか。その人がタバコを手にしていないのに、吐く息や衣服などからタバコのニオイがする事ってありますよね。さらには、喫煙が常習的に行われている部屋では、誰もいなくてもタバコの強烈なニオイがします。

(No. 479) 第4話 10年早く老ける

ータバコを吸い続けると早く老けて寿命が短くなり...

タバコを吸い続けると、本人が気付かないうちに健康が損なわれ病気になる確率が高くなります。すると、当然寿命にも影響がでてきます。下のグラフは、イギリスにおいて3万4千人を対象に50年間追跡調査をした結果です。それによると35歳で喫煙している人が70歳まで生きていたのは58%でした。対して、タバコを吸っていなかった場合は81%でした。

さらにグラフをよく見ると、タバコを吸わない人の生存率が59%になるのが80歳です。つまり、「タバコを吸うと10年寿命が短くなる」という結果がでているわけです。

10代の君たちにとっては、70歳や80歳は遙か遠い未来のこと...

Serial number 477 第2話
週刊 タバコの正体

つい先ごろ、厚生労働省が喫煙の健康影響に関する報告書「たばこ白書」をまとめたそうです。それによると、喫煙はガンだけではなく脳卒中や心筋梗塞、糖尿病などの因果関係が「確実」にあると報告されています。同時に、腹部大動脈瘤や歯周病、妊婦の早産や胎児の発育遅延などにも確実に影響を与えているとされています。

受動喫煙による年間死亡数の推計

■肺ガン	2480人
■虚血性心疾患	4460人
■脳卒中	8010人
■乳幼児突然死亡症候群	70人
計	約1万5000人

(厚生省研究班による)

私たちが暮らす日本では、下のボクサーにあるように「家庭でも」「職場でも」「車外でも」「飲食店でも」...様々な場面で受動喫煙の危険が存在し、ごく普通に遭遇しています。じつは「たばこ白書」では、この点についても触れています。

中日新聞 CHUNICHI Web. JP

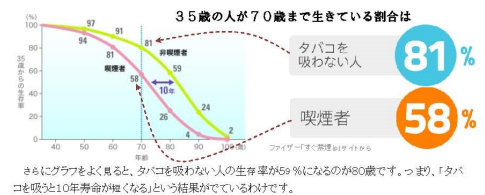
世界保健機関(WHO)が示す国のタバコ対策において、日本は「受動喫煙からの保護」の項目が「最低」評価だったと報告されています。これは67国の中で最悪だったそうです。

産案デザイン科 奥田 恭久
Zero T Project
In WAKO Since 2005

タバコの煙やニオイに無関心な日本は、世界から遅れをとっています。この遅れを取り戻し、タバコ臭くない健康で安全な日本を作るのは、将来を担う君たちの意思と行動にかかっています。

Serial number 479 第4話
週刊 タバコの正体

タバコを吸い続けると、本人が気付かないうちに健康が損なわれ病気になる確率が高くなります。すると、当然寿命にも影響がでてきます。下のグラフは、イギリスにおいて3万4千人を対象に50年間追跡調査をした結果です。それによると35歳で喫煙している人が70歳まで生きていたのは58%でした。対して、タバコを吸っていなかった場合は81%でした。



そこで、左の写真を見てください。同じ人のように見えますが別人です。双子の姉妹なので同じ年なのですが、左の人のほうが年上に見えますか。じつは、左は喫煙者で右の人はタバコを吸っていないそうです。

「タバコは寿命を縮める」という事は「老けるのが早くなる」とも言えます。喫煙者の目もとや口もとにはしわが多く、全体的に肌の色が暗く「老けて見える」感じを受けます。若い年なのにタバコを吸うと「10年早く老ける」ようにも思えます。こんな醜を「スモークコースフェイス」と呼んでいます。

タバコを吸い続けると、将来こんな姿になるのが、寿命をも短くしてしまう事を知っておかなければなりません。若い時の吸い始めは良いのですが、吸い始めってしまった人も、早くめを止めるべきです。

産案デザイン科 奥田 恭久
Zero T Project
In WAKO Since 2005

毎週火曜日発行



URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

